

令和3年度(第9回)地籍工程管理士検定試験問題の正解又は模範解答及び配点について

掲示した内容についての照会には、一切応じません。

問題番号	正解又は模範解答	配点
第1問	×	1
第2問	○	1
第3問	×	1
第4問	○	1
第5問①	認証	2
第6問②	検査	2
第6問③	受託法人	2
第7問	リモートセンシング技術を使った地籍調査は、筆界に関する情報を総合的に考慮して筆界案を作成し、集会所等で土地の所有者等の確認を求めるため、原則として現地立会いを要せず、不在地主の増加による調査の困難化の解消や急傾斜地からの転落事故といった危険を回避できる。	10
第8問	×	1
第9問	×	1
第10問	×	1
第11問	×	1
第12問①	受託監督者	2
第12問②	受託検査者	2
第13問①	受託法人検査を再委託することを妨げない。	2
第13問②	受託法人検査は再委託できない。	2
第14問①	一般の地籍調査は実施者が工程管理・検査を実施するが、2項委託は受託法人も工程管理・検査を実施しなければならない。	2
第14問②	一般の地籍調査は受注者が検査成績表に記載する項目はないが、2項委託は受託法人も記載する項目がある。	2
第15問①	直ちに再調査又は再測量を行わせる。	2
第15問②	不合格の箇所を修正後、当初の抽出を除き再度抽出検査を行い、更に不合格が出た場合には再調査又は再測量を行わせる。	2
第16問①②	○	2
第17問①②	○	2
第18問①②	×	2
第19問①②	×	2
第20問①②	×	2
第21問	関係市町村及び土地の所有者等の立会い及び同意の状況	4
第22問①	筆界	2
第22問②	20日	2
第23問	可能な限り同一地域に集中しないように平均的に行う	4
第24問①	利害関係人	2
第24問②	現地	2
第25問①	×	2
第25問②	×	2
第26問	ウ	3
第27問①	2	2
第27問②	1	2
第27問③	座標計算	2
第27問④	実測距離	2
第28問①	120	2
第28問②	5	2
第28問③	GLONASS	2
第28問④	2	2
第28問⑤	15	2
第29問A	セッション017Aと017Bの点名1と3の基線長の較差	2
第29問B	点名3と4、4と6、6と5、5と3による環の閉合差	2
第29問C	電子基準点0675～1～2～電子基準点0423、 電子基準点0423～2～4～6～電子基準点0424	2
第30問	セミ・ダイナミック	1
第30問	元期	1
第30問	今期	1
計		100